

未来社会創造事業 探索加速型探索研究
事後評価結果

1. 領域

「超スマート社会の実現」領域

2. 重点公募テーマ

多種・多様なコンポーネントを連携・協調させ、新たなサービスの創生を可能とするサービスプラットフォームの構築

3. 研究開発課題名

構想駆動型社会システムマネジメントの確立

4. 研究開発代表者名(機関名・役職は評価時点)

西村 秀和(慶應義塾大学 大学院システムデザイン・マネジメント研究科 教授)

5. 評価結果

本研究開発の狙いは、SoS(System of Systems)を構成するシステムを適切にマネジメントするための枠組みの構築であり、このようなコンセプトは、他プロジェクトで構築されるプラットフォームのマネジメントにも適用・応用でき、汎用化・敷衍化の可能性はある。

探索研究期間中に ABS2MS(Architecture Based Sociotechnical System Management System)の概念設計を行うなど、システムマネジメントについての検討が着実に進んでいることが評価された。

一方、社会実装に向けた具体的な POC や、そのために開発すべき技術課題が十分に明確になっていなかった。

以上の結果、本研究開発課題は探索研究で終了となったが、研究開発は着実に進捗しており、今後の進展についても期待が持たれる。

以上